


オスプレイの強行配備

宜野湾市は、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を求めており、オスプレイ配備は基地機能の強化ならびに普天間飛行場の固定化に繋がる恐れがあることから配備に強く反対をしましてまいりましたが、平成24年から平成25年にかけてオスプレイ全24機が普天間飛行場に強行配備されました。

平成23年	6月 6日 6月13日	沖縄防衛局が2012年遅くからオスプレイに換装すると発表 市庁舎前にてオスプレイ配備に反対する緊急座り込み行動	
平成24年	6月17日 6月19日 6月29日 9月 9日 9月19日 10月 1日 10月 9日	宜野湾市民大会開催 市長、知事によるオスプレイ配備に係る政府要請 オスプレイ換装に係る接受国通報 沖縄県民大会開催 日本政府によるオスプレイの安全宣言 オスプレイ第一陣配備開始 市長、知事による県外要請行動	
平成25年	1月28日 7月23日 8月 3日	県民大会実行委員会による総理直訴・東京要請行動 市民大会幹事会による宜野湾市共同声明発表及び県内要請行動 オスプレイ第二陣配備開始	

市内9団体による取り組み

普天間飛行場の返還については、行政のみの取り組みにとどまらず、市内の主要9団体が共同して抗議・要請を行うなど、普天間飛行場の一日も早い返還と、返還合意の原点である危険性除去と基地負担軽減の実現に向け、市民とともに取り組んでいます。

【参加団体】 ・宜野湾市 ・市議会 ・市教育委員会 ・市自治会長会 ・市老人クラブ連合会
・市婦人連合会 ・市青年連合会 ・市商工会 ・市PTA連合会

夜間騒音の激化を受けて

平成27年11月 夜間騒音が激化し、苦情も月100件以上寄せられるといった状況を受け、市内9団体が協議を行い、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還等を求める共同声明を発表し、県内・県外各関係機関へ抗議・要請を行いました。



小学校グラウンドへの窓落下事故を受けて

平成29年12月 12月13日に米軍ヘリの窓が普天間第二小学校のグラウンドに落下する重大事故が発生したことを受け、市内9団体に普天間第二小学校PTAも加わり、県内各関係機関へ抗議要請を行い、市内学校施設上空での飛行禁止と、問題の抜本的解決のため普天間飛行場の一日も早い返還などを求めました。

